

# 2030年に向けたAI知財戦略：日米中デカップリングを生き抜く「デュアルトラック」の全貌

## 米国・西側同盟国トラック

米国：知財の「武器化」と輸出管理  
BIS規則(ECCN 4E091)により、AIモデルの「重み」が史上初めて輸出管理の対象

新たな「オープン & クローズ」戦略  
コアアルゴリズムは営業秘密として租匳、物理的制作の改善のみを特許出願する厳格な選別

日本の特許出願非公開制度への対応  
2026年開始の制度により、機微なAI技術の海外流出を防ぐ一方、特許の空洞化リスクにも備えます

### 開発要件

## 米国・西側同盟国トラック

ハード/インフラ  
NVIDIA等、米国製先端GPU / 米系クラウド

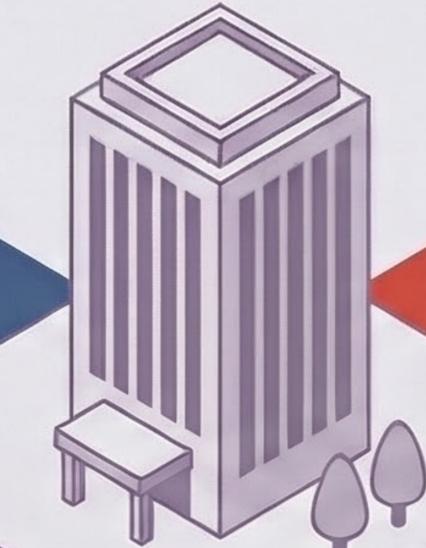
知財・法務  
DTSAに基づく縦蓋な営業秘密管理

パートナー  
Quad枠組み、欧米コンソーシアム

知財・法務  
DTSAに基づく縦蓋な営業秘密管理

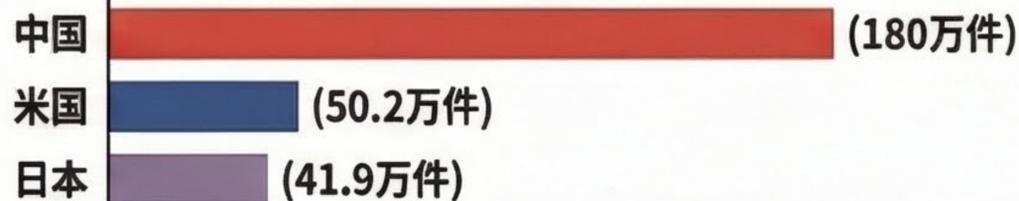
## 日本企業本社

生存指針：デュアルトラック戦略



R&D・コンプライアンス体制の物理的分離

特許出願件数の差  
(2024年 WIPO統計に基づく)



## 中国・独自エコシステムトラック

中国：三法一体のデータ統制  
改正サイバーセキュリティ法 (CSL) 等により、アルゴリズムの当局登録やデータ現地化が義務付け

中国：圧倒的な「特許物量作戦」  
2024年の中国の特許出願数は約180万件に達し、米国と日本を合算した数をも凌駕

ファイアウォール/  
物理的・論理的隔離

### 開発要件

## 中国・独自エコシステムトラック

ロックデータ  
地地したデータの業

ハード/インフラ  
Huawei Ascend等、国産ハード / 中国国内サーバー

知財・法務  
当局へのアルゴリズム登録とリスクアイソレーション

パートナー  
現地企業 (Baidu等) との合弁 (アプリ雇限定)